



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月10日

上場会社名 北海道中央バス株式会社

上場取引所 札

コード番号 9085 URL <http://www.chuo-bus.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧野 和夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 大森 正昭

TEL 0134-24-1111

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	25,715	5.3	526	—	632	1,180.3	386	—
25年3月期第3四半期	24,422	△2.5	△43	—	49	△92.5	△198	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 827百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △256百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	14.71	—
25年3月期第3四半期	△7.57	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	35,948	—	26,669	—	—	73.8
25年3月期	35,019	—	25,989	—	—	73.8

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 26,527百万円 25年3月期 25,830百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	5.00	5.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,560	5.1	830	105.4	950	85.9	580	284.1	22.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	31,460,000 株	25年3月期	31,460,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	5,197,654 株	25年3月期	5,191,956 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	26,264,686 株	25年3月期3Q	26,271,079 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、大企業を中心に企業収益が改善する等緩やかな回復の動きが見られますが、先行きについては、消費税率引き上げの影響が見込まれることや海外景気の下振れリスクの存在等により不透明な状況で推移しております。道内の経済においても、緩やかな回復の動きが見られますが、今後のT P P交渉への参加、電力・エネルギー問題の影響が懸念されております。

このような経営環境のなか、当社グループは、地域に密着した営業活動を積極的に展開するとともに、収支改善や経営体質の強化等に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高25,715百万円(対前年同期比5.3%増)、営業利益526百万円(前年同期は43百万円の営業損失)、経常利益632百万円(対前年同期比1,180.3%増)、四半期純利益386百万円(前年同期は198百万円の四半期純損失)となりました。

事業別の業績は、次のとおりであります。

#### ① 旅客自動車運送事業

乗合運送事業は、都市間高速バスにおいて、直行便の新設、始発停留所の変更、運行便数の増回や路線の延長等を実施しました。定期観光バスにおいては、新たなコースの設定、L C C(格安航空会社)利用客に対する宣伝の強化、販売チャンネルの拡大等、様々な需要喚起策を実施しました。また「お客様ご意見・ご要望デスク」に寄せられた意見等を踏まえた運行時刻や運行経路の変更等、利便性の向上に引き続き努めました。これらのほか、J R特急列車の運休による都市間高速バスの利用者増や前年に比べ春先の雪解けが遅く、バスから自転車への乗り換えが遅くなったことによる札幌市内路線バスの利用者増の影響等もあり、増収となりました。

貸切運送事業においては、長期契約の新規獲得等により増収となりました。

この結果、売上高は15,803百万円(対前年同期比1.8%増)、営業利益は282百万円(同17.0%増)となりました。

なお、貸切運送事業は、通常の営業形態として夏期が繁忙期であるため、第1四半期及び第2四半期の売上高が他の四半期に比べて高くなる季節的変動があります。

#### ② 建設業

建設業は、競争が激化するなか受注の確保に努め、公共工事を中心に受注額、完成工事高とも増加しました。

この結果、売上高は6,176百万円(対前年同期比6.6%増)、営業利益は159百万円(前年同期は364百万円の営業損失)となりました。

#### ③ 清掃業・警備業

清掃業・警備業は、新規契約の獲得等により、増収となりました。

この結果、売上高は1,990百万円(対前年同期比8.1%増)、営業利益は57百万円(同34.4%増)となりました。

#### ④ 不動産事業

不動産事業は、新規の賃貸契約や売買の仲介収入が寄与し、増収となりました。

この結果、売上高は642百万円(対前年同期比3.4%増)、営業利益は277百万円(同2.8%増)となりました。

#### ⑤ 観光事業

ニセコアンヌプリ国際スキー場及び小樽天狗山スキー場は、天候に恵まれたこと等により、増収となりました。ホテルニセコいこいの村は、インターネット商品の強化により新規顧客を獲得し、増収となりました。

この結果、売上高は355百万円(対前年同期比6.3%増)となりましたが、修繕費の増加等により、267百万円の営業損失(前年同期は218百万円の営業損失)となりました。

なお、当セグメントは、スキー場の営業が冬期間中心であるため、第4四半期の売上高が他の四半期に比べて高くなる季節的変動があります。

#### ⑥ その他の事業

飲食業は、長崎ちゃんぽん専門店「リンガーハット」の新商品発売効果等により増収となりました。介護福祉事業は、平成24年10月からサービス付き高齢者向け住宅「マイラシック塩谷」の運営を開始しました。旅行業は、新規顧客を獲得したものの、天候不順等により企画商品の集客が不調であったこと等により、減収となりました。自動車教習所は、入校生の減少等により減収となりました。

この結果、売上高は2,817百万円(対前年同期比4.0%減)、営業利益は14百万円(同44.7%減)となりました。

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成25年5月15日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしました。

平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	34,820	440	540	280	10.66
今回修正予想 (B)	35,560	830	950	580	22.08
増減額 (B - A)	740	390	410	300	—
増減率 (%)	2.1	88.6	75.9	107.1	—
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	33,844	404	511	151	5.76

## 修正の理由

自動車運送事業における高速バスの利用者増や建設業における公共工事の受注増などにより、前回予想を上回る見込みであります。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,083,854	6,577,915
受取手形及び売掛金	3,672,441	3,592,491
有価証券	150,001	100,000
販売用不動産	7,090	7,090
原材料及び貯蔵品	130,776	150,212
未成工事支出金	56,248	609,563
その他	904,683	855,532
貸倒引当金	△2,382	△6,523
流動資産合計	11,002,712	11,886,282
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,358,628	19,536,749
減価償却累計額	△14,349,180	△14,587,122
建物及び構築物(純額)	5,009,447	4,949,627
車両運搬具	24,525,150	24,146,183
減価償却累計額	△20,137,711	△20,568,578
車両運搬具(純額)	4,387,438	3,577,604
土地	10,713,766	10,703,076
その他	4,414,256	4,643,822
減価償却累計額	△3,899,649	△3,913,879
その他(純額)	514,606	729,942
有形固定資産合計	20,625,260	19,960,251
無形固定資産	190,862	178,586
投資その他の資産		
投資有価証券	2,681,676	3,527,622
その他	544,001	424,453
貸倒引当金	△25,497	△28,261
投資その他の資産合計	3,200,180	3,923,814
固定資産合計	24,016,303	24,062,653
資産合計	35,019,016	35,948,936

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,064,198	2,422,643
未払法人税等	98,943	176,944
賞与引当金	179,029	91,951
その他の引当金	22,409	5,519
その他	3,196,182	2,846,566
流動負債合計	5,560,763	5,543,624
固定負債		
退職給付引当金	2,457,768	2,509,028
役員退職慰労引当金	266,412	272,093
その他	744,219	954,701
固定負債合計	3,468,400	3,735,824
負債合計	9,029,163	9,279,448
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,100,000	2,100,000
資本剰余金	751,101	751,101
利益剰余金	23,813,864	24,054,931
自己株式	△1,180,816	△1,182,379
株主資本合計	25,484,149	25,723,653
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	346,459	803,866
その他の包括利益累計額合計	346,459	803,866
少数株主持分	159,244	141,968
純資産合計	25,989,853	26,669,487
負債純資産合計	35,019,016	35,948,936

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	24,422,034	25,715,178
売上原価	22,776,856	23,476,453
売上総利益	1,645,177	2,238,724
販売費及び一般管理費	1,689,118	1,712,375
営業利益又は営業損失(△)	△43,940	526,349
営業外収益		
受取配当金	36,520	43,342
持分法による投資利益	14,668	15,619
その他	42,273	52,377
営業外収益合計	93,462	111,339
営業外費用		
支払利息	126	62
貸倒引当金繰入額	—	5,215
営業外費用合計	126	5,277
経常利益	49,395	632,411
特別利益		
固定資産売却益	32,955	9,427
その他	110,758	669
特別利益合計	143,714	10,096
特別損失		
固定資産除売却損	23,184	16,010
固定資産圧縮損	106,381	—
減損損失	25,783	10,690
その他	11,391	22,449
特別損失合計	166,741	49,150
税金等調整前四半期純利益	26,368	593,357
法人税、住民税及び事業税	281,432	314,038
法人税等調整額	△37,554	△90,386
法人税等合計	243,878	223,652
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△217,509	369,704
少数株主損失(△)	△18,697	△16,776
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△198,811	386,480



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△217,509	369,704
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38,659	457,221
持分法適用会社に対する持分相当額	△29	184
その他の包括利益合計	△38,689	457,406
四半期包括利益	△256,199	827,110
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△237,501	843,886
少数株主に係る四半期包括利益	△18,697	△16,776

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	旅客自動車 運送事業	建設業	清掃業・ 警備業	不動産事業	観光事業	その他の 事業	合計		
売上高									
外部顧客に対する 売上高	15,738,025	5,980,754	1,278,852	411,792	348,784	1,956,968	25,715,178	—	25,715,178
セグメント間の内部 売上高又は振替高	65,965	195,422	711,671	230,849	6,380	860,626	2,070,914	△2,070,914	—
計	15,803,991	6,176,176	1,990,523	642,642	355,164	2,817,595	27,786,093	△2,070,914	25,715,178
セグメント利益又は セグメント損失(△)	282,735	159,404	57,373	277,327	△267,748	14,339	523,432	2,917	526,349

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。